

3. 留学生センター教官研究業績

庵 功雄

著書

- (1) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』白川博之監修 高梨信乃・中西久実子・山田敏弘との共著、スリーエーネットワーク、2001.10

論文

- (1) 「書きことばの研究」 J. V. ネウストプニー・宮崎里司編『言語研究の方法』、くろしお出版、63-72, 2002.3
- (2) 「文献紹介「は」と「が」の使い分けに関わる一要因：コンピューターデータを使う文法研究の例」 J. V. ネウストプニー・宮崎里司編『言語研究の方法』、くろしお出版、162-166, 2002.3
- (3) 「テイル形、テイタ形の意味の捉え方に関する一試案」『一橋大学留学生センター紀要』4、一橋大学留学生センター、75-94、2001.7

報告書（前年度より）

- (1) 『談話・テキストレベルの文法知識の習得を目的とした文法教材の開発』平成11～12年度文部省科学研究助成金奨励研究(A) (課題番号11780158) 研究成果報告書、2001.3

石黒 圭

論文

- (1) 「「意図」とは何か — 「意図」はどのように捉えられてきたか—」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』14 (ウォーカー泉・岡野喜美子・小野正樹・蒲谷宏・熊田道子・西條美紀・寺田智美・中田幸子・浜畑祐子・春名万紀子・久光直子と共著：137-180、石黒執筆分：163-166)、早稲田大学日本語研究教育センター、2001.4
- (2) 「格成分の説明の予測」『一橋大学留学生センター紀要』4、39-56、一橋大学留学生センター、2001.7
- (3) 「換言を表す接続語について — 「すなわち」「つまり」「要するに」を中心に—」『日本語教育』110、32-41、日本語教育学会、2001.7
- (4) 「句の説明の予測」『一橋論叢』126 (3)、276-289、一橋大学一橋学会、2001.9
- (5) 「日本語母語話者の連文の予測能力の実態」『早稲田日本語研究』10、147-159、早稲田大外国語学会 2002.3

今村和宏

論文

- (1) 「プレースメント・テスト改良のための統計分析」『一橋大学留学センター紀要』4、19-38、一橋大学留学センター、2001.7

河野理恵

論文

- (1) 「ステレオタイプの強固さー『日本事情』教育の現場からー」、『21世紀の「日本事情」日本語教育から文化リテラシーへ』3、30-43、くろしお出版、2001.11

口頭発表予稿集

- (1) 「『日本事情』の『常識』を問い直す」、パネルセッション（門倉正美、砂川裕一、小川貴士、牲川波都季と協同発表）、『2001年度日本語教育学会春季大会予稿集』、248-258 日本語教育学会、2001.5

五味政信

報告

- (1) 「ソウル大学訪問報告」『一橋大学留学センター紀要』4、121-126、一橋大学留学センター、2001.7

三枝令子

論文

- (1) 「「だ」が使われるとき」『一橋大学留学生センター紀要』4、3-17、2001.7

報告書

- (1) 『日本語能力試験の概要 2001年度版（2000年度試験結果の分析）』（野口裕之、青木惣一他12名と共著）61-78、国際交流基金（財）日本国際教育協会、2002.3
- (2) 『平成12年度日本語能力試験分析評価に関する報告書』114-131、国際交流基金（財）日本国際教育協会、2002.3
- (3) 『日本語能力試験分析評価に関する報告書—1990年度から1999年度までの分析報告書 10年度分試験結果の分析』（野口裕之、青木惣一他12名と共著）61-78、国際交流基金（財）日本国際教育協会、2002.3

教科書

- (1) 『日本法への招待 裁判例・審決例で学ぶ日本法』（橋本正博、青木人志と共編）、一

橋大学学術日本語シリーズ8、一橋大学留学生センター、2002.3

鶴田庸子

論文

- (1)『「敬語を使うことで伝わる『丁寧さ』と日本語教育』The Language Teacher 26(1)、
全国語学教育学会、2002.1
- (2)「スタイルについて学校で教えられること」『英語教育』3月号、大修館書店、2002.3

西谷まり

論文

- (1)「ディベート活動を通じた口頭表現の指導法」『一橋大学留学生センター紀要』4、55-71、
一橋大学留学生センター、2001.10
- (2)「内容中心の日本語教育」『留学生教育』6、19-33、留学生教育学会、2001.11
- (3)「海外における予備教育のあり方?東北師範大学赴日本国留学生予備学校の事例から?」
『言語文化』38、3-18、一橋大学語学研究室、2001.12

実践報告、調査報告

- (1)「日本語教官と専門科目教官の協力体制—東北師範大学赴日本国留学生予備学校の事例から—」『専門日本語教育研究』3、35-40、専門日本語教育研究会、2001.11

報告書

- (1)「伝えあう国際理解教育—长春市第一中学とA市立Y中学校の交流—」小林由生と共著、
『群馬県太田・大泉の小中学校国際化の実態と求められる教員資質の総合研究』、
285-296、科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書(課題研究番号11410069)
2002.3

松岡弘

論文

- (1)「コメニウス教授学における「分析」と「総合」の意味について」『日本語学と言
語学』玉村文郎編、358-369、明治書院、2001.11
- (2)「コメニウスの言語教科書はどのように使われたか」『言語文化』38、63-69、一
橋大学語学研究室、2001.12

教科書

- (1)『留学生のための日本語教科書：学術日本語の基礎(二)・近代文語文を読む』一
橋大学学術日本語シリーズ7、一橋大学留学生センター、2001.10

横田雅弘

報告

- (1)「韓国における日本留学フェア(一橋大学ブース)の来談状況の分析～中国(1999)での質問紙調査との比較から～」『一橋大学留学生センター紀要』4、127-139、一橋大学留学生センター、2001.7

講演記録

- (1)「大学における留学生支援システムについて」『奈良教育大学人権研究 研究紀要』9、21-43、奈良教育大学人権教育推進委員会、2002.3

事典事項執筆

- (1)「異文化間カウンセリング」『現代カウンセリング事典』国分康孝監修、金子書房、2001.12

教官の海外渡航

石黒 圭

2001.9.21-24 台湾台北市における日本留学フェアへの参加

岡野宏次

2001.9.14-18 韓国ソウルおよびプサンにおける日本留学フェアへの参加

西谷まり

2001.7.29-8.16 ベトナムにおける日本語教育および日本語教師教育
HUNG VUONG 大学日本語学科生の日本語教育
DONG DU 日本語学校のベトナム人日本語教師教育

留学生センター関連出版物

- (1) 『Bridges』 15、一橋大学留学生センター、2001.7
- (2) 松岡弘『留学生のための日本語教科書：学術日本語の基礎（二）・近代文語文を読む』一橋大学学術日本語シリーズ7、一橋大学留学生センター、2001.10
- (3) 『Bridges』 16、一橋大学留学生センター、2001.12
- (4) 三枝令子・橋本正博・青木人志『日本法への招待 裁判例・審決例で学ぶ日本法』一橋大学学術日本語シリーズ8、一橋大学留学生センター、2002.3